

第18回

鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム

日 時

平成9年8月28日(木) 13時00分～17時30分

29日(金) 9時00分～16時30分

場 所

京都市北文化会館

京都市北区小山北上総町49-2

(キタオオジタウン内)

TEL 075 (493) 0567

世話人

野崎正勝 (代表：生産開発科学研)

植田弘師 (長崎大・薬・分子薬理)

岡 哲雄 (東海大・医・薬理)

小栗一太 (九州大・薬・衛生)

亀井淳三 (星薬大・医療薬学第2)

桜田 忍 (東北薬大・機能形態)

佐藤公道 (京都大院・薬学研究科)

鈴木 勉 (星薬大・薬理)

高橋正克 (長崎大・薬・医療情報分析)

長瀬 博 (東レ・基礎研)

中村秀雄 (大日本製薬)

山本博之 (和歌山医大・薬理)

事務局

(財) 生産開発科学研究所

〒606 京都市左京区下鴨森本町15

TEL 075 (781) 1107 FAX 075 (791) 7659

プログラム

8月28日(木) 13:00~17:30

13:00

世話人代表挨拶

野崎正勝 (生産開発科学研)

INRC 報告

植田弘師 (長崎大・薬・分子薬理)

主題1 Nociceptin/Orphanin FQ Receptor

オーガナイザー/座長: 植田弘師 (長崎大・薬・分子薬理)

川島誠一 (都臨床研・遺伝情報)

13:20

1) Nociceptin 脊髄クモ膜下腔内投与による疼痛関連行動について

○井上 誠¹、勝山 荘²、桜田 忍²、丹野孝一³、木皿憲佐³、佐々木潤⁴、大場優孝⁴、植田弘師¹、桜田 誓⁵、桜田 司⁵、(1長崎大・薬・分子薬理、2東北薬大・機能形態、3東北薬大・薬理、4旭硝子・中央研、5第一薬大・生化)

13:45

2) 糖尿病マウスの侵害受容閾値に対する nociceptin の効果

○大澤匡弘、亀井淳三 (星薬大・医療薬学第2)

14:00

3) ノシセプチンペプチドの構造活性相関

○下東康幸¹、畑野 陵¹、中島理恵¹、野瀬 健¹、朱雀鉄城²、西郷 晶²、長久厚² (1九州大・理・化学、2ファイザー製薬・中研)

14:25

4) Nociceptin 関連リガンドの設計

○Yunden Jinsmaa、吉川正明 (京都大・食糧科研)

14:40

5) 変異型 nociceptin 受容体を用いたリガンド認識機構の解析

○南 雅文、関 貴弘、上原知也、中川貴之、佐藤公道 (京都大大学院・薬・生体機能解析)

15:05

休憩

15:15

6) ノシセプチン/Orphanin FQ 受容体の情報伝達

○植田弘師¹、徳山尚吾¹、井上 誠¹、柿澤慶子¹、入江圭一¹、山口 拓¹、林田 壮一郎¹、下平伊知郎¹、桜田 司² (1長崎大・薬・分子薬理、2第一薬大・生化)

15:40

7) Nociceptin/Orphanin 前駆体遺伝子発現による神経細胞分化の誘導

斉藤祐見子¹、丸山 敬²、川野 仁³、川村光毅³、西道隆臣¹、○川島誠一¹ (1都臨床研・遺伝情報、2生理研・神経化学、3慶応大・医・解剖)

16:05

8) カラゲニン誘発の炎症性疼痛過敏におけるラット後根神経節での prepronociceptin mRNA の発現誘導

○安東嗣修、伊藤雅之、倉石 泰 (富山医薬大・薬・薬作)

16:30

招待講演 (1) 座長：金戸 洋 (長崎大名誉教授)

膜レセプター蛋白質研究への新しい方法論の提言

砂本順三 (京都大大学院・工・合成・生物)

18:00

懇親会 (北大路ビブレ/ラ・ヴィータ)

8月29日(金) 9:00~16:30

主題2 疼痛治療の現状と展望(臨床および基礎の立場から)

オーガナイザー/座長:花岡一雄(東京大・医・麻酔)

太田宗一郎(岐阜大・医・麻酔蘇生)

9:00

1) 急性痛・慢性痛の治療上の問題点

○有田英子、花岡一雄(東京大・医・麻酔)

9:25

2) 髄腔内投与薬による spinal antinociception の可能性と問題点

表 圭一(札幌医大・麻酔)

9:50

3) 疼痛治療における自律神経作動薬の役割

小川節郎(日本大・医・麻酔)

10:15

休憩

10:30

4) 炎症性疼痛刺激による脳・脊髄内オピオイドおよび α_2 アドレナリン受容体の変動

○太田宗一郎、土肥修司(岐阜大・医・麻酔蘇生)

10:45

5) NMDA 受容体非競合的拮抗薬 ifenprodil の morphine 鎮痛補助剤としての有用性

鈴木 勉、○加藤英明、津田 誠、鈴木 肇*、三澤美和(星薬大・薬理、*グ
レラン製薬・研開本部)

11:00

6) オピオイドと中枢性の痒み

○倉石 泰、山口朋美、東田千尋*(富山医薬大・薬・薬品作用、*和漢薬研・薬
効解析)

11:15

7) オピオイドによる精神機能の調節

○鶴飼 良、亀山 勉(名城大・薬・薬品作用)

11:40

8) 新規 κ 作動薬、TRK-820の薬理作用

○遠藤 孝、松浦博敏、田嶋知子、田嶋 敦、泉本直樹、早川 潤、河合孝治、
川村邦明、長瀬 博(東レ・基礎研)

主題3 オピオイド研究の新展開

座長：岡 哲雄（東海大・医・薬理）

13：20

- 1) クローン化オピオイド受容体発現細胞を用いた拮抗性鎮痛薬の薬理的性質の解析
○南 雅文、勝又清至、家永裕賀、佐藤公道（京都大院・薬学研究科）
- 2) クローン化オピオイド受容体発現細胞における拮抗性鎮痛薬の「依存」現象形成および「禁断」現象誘発
○木村千晶、勝又清至、南 雅文、佐藤公道（京都大院・薬学研究科）

13：45

- 3) DAMGO による μ/κ オピオイド受容体間識別に関与するアミノ酸残基の決定
○関 貴弘、南 雅文、中川貴之、森貞亜紀子、佐藤公道（京都大院・薬学研究科）

座長：鈴木 勉（星薬大・薬理）

13：55

- 4) オピオイド受容体関連細胞情報伝達とアンチセンスオリゴヌクレオチド
○北村 憲、吉川正信、岩尾佳代子、小林智美、金井昌之、赤堀一仁、中林 大、安藤順一郎、岡 哲雄（東海大・医・薬理）

14：10

- 5) β -funaltrexamine methylsulfonate (β -FNA) による μ_2 受容体遮断におけるGTPの関与
○高柳一成、岡安綾子、小池勝夫、細木るみこ、鈴木 勉*（東邦大・薬・薬理、*星薬大・薬理）

14：25

- 6) アンチオピオイド Tyr-MIF-1 の脊髄腔内投与による抗鎮痛作用について
○福永浩子¹、高橋正克¹、吉川正明²、金戸 洋³（1長崎大・薬・医療情報分析、2京都大・食糧科研、3長崎大名誉教授）

座長：中村秀雄（大日本製薬）

14：35

7) Gluten Exorphin A の中枢作用

○吉川正明、Yunden Jinsmaa、園田壮司、高橋正克*（京都大・食糧科研、*長崎大・薬・医療情報分析）

14：50

8) モルヒネ誘導体（KT-90およびKT-87）の制がん作用

○末岡榮三朗、末岡尚子、岡部幸子、菅沼雅美、神津知子、小森敦正、兼松 顕*、藤木博太（埼玉がんセ・研、*学位授与機構）

15：05

9) 疼痛制御物質・Spinorphin の抗炎症効果

○羽里忠彦、島村真里子、植木正彬*、山本行男（都臨床医総研、*東京理大）

15：30

招待講演（2） 座長：野崎正勝（生産開発科学研）

基質遷移状態からデザインされた阻害剤とプロテアーゼの分子認識機構

木曾良明（京都薬大・薬品化学）

16：30

次期世話人代表挨拶

閉会挨拶